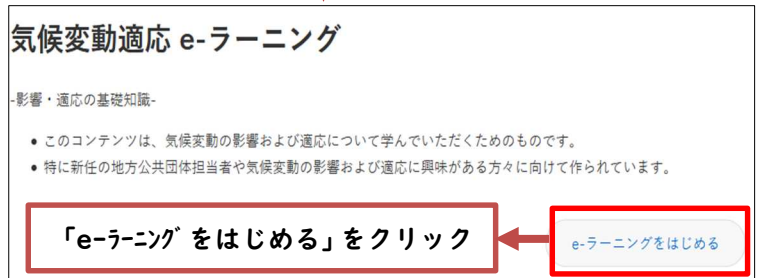


# 宮崎県気候変動適応センター通信 第7号

## 「A-PLAT」を活用しよう！～気候変動適応 e-ラーニング～

「A-PLAT」（気候変動適応情報プラットフォーム）では、これから気候変動適応に取り組む方に気候変動による影響および適応について学んでいただくことを目的として、気候変動の影響や適応に関する基礎知識をまとめたe-ラーニングを公開しています。

e-ラーニングで気候変動の影響や適応について学んでみませんか。



e-ラーニング スタート！

### 1. 気候変動とは

- 気候は元々、自然に変動や変化をしています。
- 近年の気候には、この自然変動や変化に、人間活動に由来する変動も加わってきています。
- 気候変動には気温上昇や、降水の変化などが含まれます。

気候変動は定常的なものではなく、太陽活動の変動や火山噴火などの自然の影響、温室効果ガスの排出や森林伐採など人間活動による影響により変化、変動しています。

このような変化や変動を広く「気候変動」と呼びます。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第5次評価報告書では、20世紀半ば以降に観測された気候変動は、人間活動による二酸化炭素等の温室効果ガスの排出が主要な要因である可能性が極めて高いことが示されました。

この気候変動の代表的な事例としては、気温の上昇や降水の変化が挙げられます。例えば、日本の年平均気温は100年あたり約1.21℃の割合で上昇しています。

この気温上昇や降水の変化といった気候変動は、今後も進行していくと考えられています。

日本の年平均気温変化

気候変動と適応の基礎知識や、将来の気候予測、これまでの気候変動の影響、適応策の事例、政府の取組などが学べます。PDF版もありますので、ぜひご活用ください。

適応とは >

### 2. 適応とは

- 気候変動による被害を回避・軽減することです。
- 気候変動により好影響がある場合は、それを活かすことも適応です。
- 気候変動対策として、温室効果ガスを減らす「緩和」と被害の回避・軽減をする「適応」の両方が重要です。

気温上昇により、お米の白米熟粒（しろみじゅくりゅう）や、リンゴの日焼けなどの品質低下の影響が既に現れています。お米の場合、高温に強い品種への変更に、リンゴの場合、日除けで強い日差しを遮ることなどが「適応」といえます。

また、気候変動がもたらす機会を活用する取組として、熱帯果樹の栽培を行うことも等も「適応」といえます。

大雨による河川や下水道の氾濫、浸水被害を防ぐためのインフラ整備や、警戒避難体制の強化も「適応」です。

個人では、天気予報や防災アプリの確認や、ハザードマップ（洪水被害予想地図）の確認など、気象災害から身を守ることも「適応」です。

「適応」は、気候変動によって生じる新たな被害、大きな災害に備えるための対策といった側面が多いことも事実ですが、一方、例えば企業にとっては、気候変動に積極的に向き合うことにより、社会に役立つ新たなビジネスが開拓できるといった側面もあります。

緩和と適応は車の両輪

温室効果ガスの増加 → 気候変動 → 適応による影響

緩和 → 温室効果ガスの削減 → 気候変動の抑制 → 適応の必要性の減少

適応 → 自然や社会のレジリエンス向上 → 気候変動による被害の軽減 → 緩和の必要性の減少

< 気候変動とは

これまでの気候の変化 >

詳細はこちらをご覧ください。↓↓「A-PLAT」（気候変動適応情報プラットフォーム）

<https://adaptation-platform.nies.go.jp>

宮崎県気候変動適応センター

事務局：宮崎県環境森林部環境森林課 電話：0985-26-7084 E-mail:kankyoshinrin.pref.miyazaki.lg.jp